



2024-25 年度
国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

Weekly Report Niigata



2024~25 年度
新潟ロータリークラブ会長

吉田 和弘

新潟 RC 6 月第 3 例会 (2025.6.17) No.3558

(1) ロータリーソング「我等の生業」斉唱

(2) 会長の時間 (吉田和弘会長)

学生が思う理想的な職場のイメージ、上司像

今日のお話が、通常の例会スタイルでスピーチする最後の「会長の時間」になります。先週の例会で、親睦に関するアンケートを行いました。「参加した親睦活動は？」という問いには、「納涼会」が最も多く、次いで「月見例会」というお答えでした。また「こんな親睦グループがあれば入ってみたいと思うジャンルはありますか？」という問いは、「グルメ(食べ歩き)」「釣り」「ハイキングもしくはトレッキング」「新潟の美味しい料理と日本酒を堪能する会」「落語を聴く会」「麻雀」などといった答えをいただきました。なかなか面白そうですね、佐藤年度でぜひ実行いただければと思います。

さて、この1年、ロータリーにまつわる話をお届けしてきましたが、今週はちょっと目先を変えまして、皆さんに共有したい情報をお伝えします。

それは、20歳の学生、社会に出る直前の若者が思う、「理想的な職場のイメージ、上司像」です。皆さんが、会社の若い社員さんに接したとき、(・・・あれ?)と違和感をお持ちになったことはないでしょうか?私も長年、18歳から20歳の学生を定点観測していますが、明らかに価値観が変わりました。いや、変わった、というのは自分勝手な視点かもしれませんが。彼らには彼らなりの喜ぶポイント、感激する場面、大切にしているモノなどなどがあるわけで、それが昭和世代と違ったとしても、ごく当たり前の流れなのだと思います。

となれば、彼らがどのような考えでいるのか。教えてもらわなければ話が進みません。そこで、私が授業でよく実施してるアンケートの結果を皆さんにシェアしたいと思います。学生の本音です。どうぞ参考になさってください。なお、このアンケートは、日本料理専攻と、中国料理専攻の学生に聞いたものです。

初めに「理想的な職場のイメージ、嫌な職場のイメージ」です。

・忙しくても話し合えること。指示するだけでなく、話を聞いてくれる人がいる。

・教育制度がしっかりしている。

・時に厳しく、時に優しいメリハリのある雰囲気。

・ダメなところに気づいてくれる上司がいるお店。指摘してもらえるのはありがたい。

・見て覚えろ、察して動け、は嫌だ。わからないことはわからない。

・教えてくれとお願いしても、教えてくれそうにないところ。

・1回ミスただけで、相手にされなくなるようなお店には行きたくない。

・上下関係がはっきりしているのはいいが、裏でネチネチ言われるのは嫌だ。

・他の同期には優しいのに、自分ばかり理不尽に厳しくされるのは我慢できない。

次に「自分にとっての理想の上司とは?」です。

・しっかり怒ってくれる上司 ・ONとOFFがしっかりしている ・できたときには褒めてくれる

・普段は厳しいが、認めることはしっかり認めてくれる人 ・自分も目指して越えたいと思える上司

・分かるまで何度もしっかり教える人 ・みんなに平々等々で、自分の考えをしっかりとってくれる上司

・上司の立場に責任を持っている・丁寧に接してくれる

・助け合いができる上司

・大事なときに的確な判断ができる人 ・冷静で、人に温かい人

・新人がミスしても笑顔で優しく教えてくれて、カバーしてくれる人

「こんな上司は嫌だと思いうイメージは？」もご紹介し
ます。

- ・嫌がらせが多い ・失敗を必要以上に責める
- ・怒鳴る ・自分の失敗を認めない
- ・人の話を聞かない ・言っていることとしている
ことが反対 ・自己中心的で、その時の気分で態度が
変わる上司 ・常にイライラしている ・自分ができ
ない行動を上から言う ・嫌味ばかり言
う ・お礼が言えない人 ・注意しない人 ・仕事
の説明をしない ・怒ってばかりの人 ・悪口ばかり
言う ・陰口を言う

いかがでしょうか？「厳しくてもいいから、認めると
ころはしっかり認めてもらいたい」というのは、調理
師を目指す学生ならではの考えかもしれませんが、「見て
覚えろ、察して動け、は嫌だ」という考えを、古い職
人さんに紹介したことがあるのですが、みなさん啞然
としていました。教えたくないのではなく、若い衆が
教えてもらいたいと考えていたとは、思いもしなかつ
た、というのです。変わらない重要な価値は守ってい
かねばなりません、いつのときも、自分たちのやり
方が正しい、と思ひこむ考えは、周囲とのいさかいが
起きてしまう。そんな気がします。

◎今週のお店紹介 和食酒場 風花(かざはな)
新潟市中央区米山2丁目7-20

(3) 退会ご挨拶(会長よりバナー贈呈)

- ・BSNメディアホールディングス
代表取締役社長 佐藤隆夫君
- ・事業創造大学院大学学長 五月女政義君
- ・㈱ドコモCS新潟支店長 塩野貴義君

(4) 高橋 秀松ゴルフ同好会会長報告

・6月12日に開催された新潟市内RCゴルフ大会は8
2名の参加があり新潟クラブは第7位でした。6月
15日に開催されました新潟RCチャリティーゴルフ
コンペ 優勝は 佐藤 邦栄さん。チャリティー
として協賛いただきました54,000円を米山奨学会、
R財団、青少年育成基金へ等分に寄付致します。

(5) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(織戸 潔副委員長)

チャリティーゴルフコンペ参加者

織戸 潔君

米山奨学会寄付発表(榎本 豊委員)

チャリティーゴルフコンペ参加者

榎本 豊君 織戸 潔君

江越 誠君 杉村 章君

村山洋一郎君 本間 疆君

坂井 賢一君

青少年育成基金寄付発表(五月女政義委員長)

チャリティーゴルフコンペ参加者

本間 疆君 五月女政義君

(6) ニコニコボックス紹介(大桃 典和委員長)

・苅部雄一君 母への御霊前を頂き、心より感謝申し
上げます。大変、ありがとうございました。

・佐藤 隆夫君 先日の女子プロゴルフ サントリー
レディースでBSNが応援している高橋彩華選手が3年
ぶりに優勝しました。全米オープンも、がんばって
ほしいです。

・佐藤 邦栄君 チャリティーゴルフコンペで優勝さ
せていただきました。一緒に回った高橋康隆さん、
大桃さん、内山さんに感謝しながら優勝カップに3回
目の名前を刻みました。次回は7/27(日)紫雲で表
彰式はグランドホテルのビアガーデンです。多くのご
参加を願いつつニコニコします。

・渡邊 利博君 誕生日のプレゼント、ワインありが
とうございます。美味しく頂きました。

・大桃 典和君 この1年、ニコニコBOX委員会に
多大なるご理解、ご支援をいただきありがとうございました。運営に携わった委員の皆様はじめ寄付をおよ
せいただいた皆様に感謝してニコニコします。

(7) 卓話「異常気象は、もはや異常ではない」

新潟大学

自然環境学科大気海洋システム研究室(NAOS)

教授 秋山 明治 氏

(8) 6月17日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
78	77	50	64.94%

Zoom参加 4名

6月24日の例会

納会夜例会 於 イタリア軒

17:00 受付 17:30 開会

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>

新潟ロータリークラブ会員 坂本信さんの記事が 2025年6月14日の新潟日報に掲載されていました。
同じく会員の石川 治老さんの記事が新潟商工会議所会報6月号に掲載されていましたのでご紹介させていただきます。

2024～25年度 新潟 RC 広報会報雑誌委員長 佐藤 紳一
(一年間、どうも有難うございました)

本県でコンピューターゲームの腕を競うeスポーツの普及と選手育成を目指す一般社団法人「県eスポーツ連合 (NESU)」が設立された。県内で大会を開催するほか、学校や企業のクラブ活

動などを支援していく。新潟大副学長でNESU代表理事の坂本信さんは「eスポーツは教育や認知症予防にも有効で、多くの可能性を秘めている。新潟の活性化につなげたい」と意気込む。

eスポーツで新潟を活性化

競技の普及と人材育成を目指す、県eスポーツ連合を立ち上げた坂本信代表理事(右)と室田雅貴事務局長(左)新潟市中央区笹口1



米国発のeスポーツはゲーム(SU)が設立された。地方支
ムを娯楽ではなく、競技とし 部も次々と整備されており、
て捉える。国内でも2010 本県は38例目。これまで県内
年ごろから広がり始め、18年 でもeスポーツのイベントや
に日本eスポーツ連合(JE 団体はあつたが、中核となる

普及、選手育成へ県連合設立

大会誘致視野 教育、認知症予防にも期待

組織がなく、経営者や学者を
中心に約1年半かけ、準備を
進めてきた。

JESUの統計によると、
スポンサー収入やイベント収
益などによるeスポーツの国
内市場規模は、19年の約60億
円から22年には120億円超
に成長している。今年2月に
札幌ドームで開催された国際
大会では、賞金総額3億円を
かけ、各国の予選を勝ち抜い
た約120人のプレイヤーが
出場。来場者は5日間で3万
人を超えた。

NESUの室田雅貴事務局
長は「将来的には新潟にも大
規模大会を誘致したい」と展
望を語る。

ルールを覚えて楽しむeス
ポーツを認知症予防に生かす
動きもあり、三条市では市主
催の介護予防教室で導入して
いる。NESUは三条市の取
り組みを参考に、世代間交流
イベントや高齢者施設での体
験会を行う予定だ。

設立総会を20日、新潟市中
央区のNSGeスポーツスタ
ジアムで開き、活動を本格化
させる。坂本代表理事は「大
学としても普及、研究に力を
入れたテーマで、連携して
いきたい。世界と戦えるeス
ポーツ人材も輩出したい」と
話した。



株式会社芳樹園 代表取締役 いしかわ はるいち
石川 治彦 氏

花と緑に関わる事業を通して 安らぎと憩いの空間を提供したい



PROFILE

1964年生まれ、新潟市出身。高校卒業後、東京の岩城造園株式会社に入社し、造園の仕事について一から学ぶ。6年間修業した後、芳樹園に入社。造園、園芸卸売、総務関連などさまざまな仕事を経験し、10年前に代表取締役就任。新潟商工会議所では1号議員、商業部会常任幹事を務める。

●その他の役職
一般社団法人 日本庭園協会 総務委員長

86年の歴史を持つ芳樹園は、造園、植物・園芸用品の卸売、グリーンレンタル、フラワーショップ経営など、花と緑に関わる事業を展開する企業。さまざまな事業や活動を通して、お客様のために、そして緑あふれる地域づくりに貢献していきたいという石川社長に、お話を伺いました。



株式会社芳樹園
〒950-8741
新潟市中央区榮宮3丁目1番地1
TEL: 025-284-7876
<https://www.hojuen.co.jp>

